



年 組 名前

道新ワークシート

西胆振経済2022

トップに聞く

——世界的な感染が続く新型コロナウイルスの影響を教えてください。

「2021年度のバス業界は輸送需要が落ち込み、厳しい状況です。道内では緊急事態宣言などが発令され、特に主力の都市間高速と貸し切り事業が感染拡大1年目の20年度にも増して苦しくなっています。昨年10〜12月は緊急事態宣言が解除されるなどして

利用回復 スマホに活路

一時的に業績は回復しましたが、年明け以降は感染『第6波』で再び大幅に落ち込んでいます。（原油高に伴う）燃料価格の高騰も大きな負担です」

——打開策は。

「サービスを便利でわかりやすくして利用客を回復したい。4月からは室蘭と苫小牧の市内線を利用する学生向けにスマートフォン定期券を販売する予定です。若い世代にバスを便利に使ってもらい、将来は利用者の多い通勤定期



「サービスを便利でわかりやすくし、コロナ禍で失った利用客を回復したい」と話す長谷川義郎社長

道南バス 長谷川義郎社長

に波及させたい。20年末に導入したQRコード決済で1月に『au pay』を加えました。さらに増やします」

——昨年7月には、バスの位置がわかる「バスロケーションシステム」を胆振管内4市の支援を受けて導入しました。

「利用者がスマートフォンなどでリアルタイムの運行状況を見られるようになったため、雪や台風など悪天候の際の電話での問い合わせが8割減りました。2月の大雪でも効果を感じました。公共施設や病院に電子看板を設置しており、スマホを持たない高齢者からも好評です。QRコード決済も、札幌や新千歳空港と胆振管内を結ぶ都市間高速バスを使うビジネス客や若者の利用増につながりました」

——室蘭市など人口減少が進むなか、路線を維持することに

「高齢化社会に向かうなか絶対に路線をなくしてはならないのですが、マチの規模や需要に見合った形に変える必要はあります。例えば、イオン室蘭店（東町）が24年度以降に計画している室蘭市公設地方卸売市場跡（日の出町）への移転が行われた場合には路線を新設するなど柔軟に対応します。地域の交通事業者が連携し、スマホで交通手段の検索・予約・決済を一括して行う『Maas（マース）』もバスの利用増につながります」

「一方で、路線の安定には運転手の確保が不可欠です。賃金、福利厚生などの労働条件を見直して人材を確保したい。また、国に地域の産業や生活をいかに守るかを考えてもらう必要もあります」

（聞き手・久保耕平）

はせがわ・よしろう 室蘭市出身。札幌学院大卒。室蘭市内の会社勤務を経て2001年、道南バスに入社。一度退職してNPO法人で勤めたあと、15年に再入社した。営業部長、経理担当部長などを歴任し、19年10月から現職。読書と音楽鑑賞が趣味。最近は郷土史に熱中している。56歳。

2022年3月15日（火）朝刊 室蘭・胆振版 18ページ（記事は再編集しています）

①道南バスで、学生向けに始めようとしているサービスの内容を、記事から探して書きなさい。

②「バスロケーションシステム」の導入によって、どのような効果が見られたか、記事を参考に書きなさい。